

第2回富士見市男女共同参画社会確立協議会会議録

- 日時 平成20年10月29日(水)10:00~12:10
- 場所 中央図書館2階 視聴覚ホール
- 出席者 委員 金子(美)、金子(典)、野口、森田、吉川、神保、高橋(秀)
高橋(千)、金子(眞)
専門委員 小西
事務局 浅野、山岸、外澤
- 開会 高橋会長
- 議題 (1) 富士見市男女共同参画に関する市民意識調査について
始めに事務局から、男女共同参画推進庁内連絡会議で出された意見を報告。
その後、項目ごとにその意見の方向性の決定と併せて自由討議を行う。
- あなた自身のことについて
- 問4 家族構成について、選択肢3は親と子で2世代世帯となっているが、自分を中心とすると3世代になるのではないか。核家族の選択肢がないのではないか。
- 事務局が持ち帰り、他市を参考に研究し訂正する。
- 問5 - 1 子どもの年齢について、中学生までは細かい選択肢が設けられているが、それ以降は中学生以上とひと括りでよいのか。
- (事務局) この設問の目的は、子育て期の家庭での性別役割分担や就業の希望・実態などについて把握するものであるため、中学卒業以上は細分化する必要性は低いと考える。(委員) 了承。
- <変更なし>
- 問6 問26 - 1では働き方を大きく分類しているが、職業を問う部分と整合性を図る必要はないか。また、選択肢4・5で事務系と労務系を分けているが、そこまでの分けが必要か。
- (委員) 問26 - 1では職種ではなく、働く形態を問うているもので、必ずしも整合性を図る必要はないのではないか。(事務局) 選択肢については過去(平成3年)に実施した意識調査と同様にしており、経年変化を見たいと考えている。(委員) 了承。
- <変更なし>
- その他 地域についての設問がないが必要ではないか。
- (事務局) 今回の調査は地域性の把握まで対象としておらず、また、無作為抽出にあたって、地域ではなく年齢層のバランスを重視した方法をとっているため設定していない。(委員) 了承。
- <追加なし>
- 男女平等に関する意識について
- 問9 選択肢に「どちらかといえば」や「やや」といった中間的なものが必要ではないか。
- (専門委員) アンケート集計の際に“どちらかといえば優遇”は“優

遇”に含まれて考えられるのであれば、選択肢を増やすことは煩雑になることだと思う。設問中に「あなたの感じ方に近いもの」となっているので、それを波線などで強調し、どちらかといえば...という人が選びやすく工夫すればよいのではないか。(委員)了承

<設問の一部(あなたの感じ方に近いもの)を強調する>

問9 選択肢に「わからない」とあるが必要ないのではないか。十分に考えてもらえず、逃げ道になってしまうように思うが。

(委員)考えるのが面倒な回答者が丸をつけてしまう可能性はあるが、本当にわからない人もいるのではないか。調査の目的が意識調査なら「わからない」という選択肢も残しておいてよいのではないか。(委員)了承

<変更なし>

問10 この機会に認知度を幅広く知るために、他に挙げておく設問はないか。

(事務局)ほかに講演会やセミナーなどの参加経験などについてたずねることなどが考えられるが、独自にアンケートも実施しており、今回は、これまで一方的な発信を実施してきて、浸透度の計測が難しいものをピックアップした。(委員)了承

<変更なし>

問11 庁内連絡会議で提案された、選択肢1の削除について

委員賛成

<選択肢1を削除>

問12 選択肢2「～子どもを産める期間が短くなったから」という表現に抵抗を感じる。「女性の結婚年齢がたかまったから」で理解できるのではないか。

委員賛成

<選択肢2を「女性の結婚年齢が高まったから」に変更>

家庭生活について

問13 選択肢の「自分と配偶者が同じくらい」を「自分と配偶者が協力して」とした方がよいのではないか。正確に半分という量の問題ではなく、意識の問題だと思うので。

(委員)協力や手伝いではなく主体的に関わっていることが大切なので、協力とすると実態が見えにくくなるのではないか。

<変更なし>

問13 問14で家庭での役割分担の満足度を大枠で聞いているが、問13の内容について理想の姿を伺う設問があるとよいのではないか。

委員賛成

<問13と同内容で、本来の希望をたずねる設問を追加>

問16 問13と重複するので削除してはどうか。

委員賛成

<問16を削除>

問17 庁内連絡会議で提案された、設問と選択肢中の「参加」から「分担」への変更について

委員賛成

<設問と選択肢中の「参加」を「分担」への変更>

学校教育について

問18 子どもに希望する学歴は、現在も男女で差があるものなのか。差がないように思うので、この設問は必要ないのではないか。

(事務局)平成3年に実施した時は、男の子が大学まで希望する割合が高いのに対して、女の子は短大までという傾向がみられた。今回は、その差がどう変化しているかを調査したいと考えている。(委員)了承
<変更なし>

問19-1 この設問だけ自由既述形式だが、統一を図る必要はないか。(事務局)過去の記述を参考に選択肢を作ることは可能かと思う。(委員)平成3年の状況と現在とでは、教育の環境が著しく変化しており、選択肢にそぐわないのではないか。現状のまま、自由に記述する形式の方がよいと思う。

<変更なし>

就業について

問23-1 格差の内容をたずねるだけでなく、問題となるものをたずねた方がよいのではないか。

委員賛成

<設問「～、どのような格差が問題だと思いますか。」に変更>

問24 庁内連絡会議で提案された、選択肢9「家業のため」から「家業(自営や農業など)を手伝ったり、継いだりするため」への変更について

委員賛成

<選択肢9「家業のため」から「家業(自営や農業など)を手伝ったり、継いだりするため」に変更>

問25 庁内連絡会議で提案された、設問「～就業形態をとられてきましたか。」から「～就業形態でしたか。」への変更について

(委員)現在就業している方への問であり、過去形にするのは不自然ではないか。

<設問「～就業形態をとられてきましたか。」のまま変更しない>

高齢者福祉について

問31 庁内連絡会議で提案された、設問「～、どなたに介護してほしいと思いますか。」から「～、主にどなたに介護してほしいと思いますか。」への追加変更について

委員賛成

<設問「～、どなたに介護してほしいと思いますか。」から「～、主に

どなたに介護してほしいと思いますか。」へ追加変更>

問3 1 庁内連絡会議で提案された、選択肢7「有料老人ホームなどの施設」から「老人ホームなどの施設サービス」への変更について
委員賛成

<選択肢7「有料老人ホームなどの施設」から「老人ホームなどの施設サービス」へ変更>

配偶者などからの暴力について

21問3 2 庁内連絡会議で提案された、選択肢「暴力」から「暴力である」への追加変更について

委員賛成

<選択肢「暴力」から「暴力である」へ追加変更>

22問3 3 及び問3 3 - 1 庁内連絡会議で提案された、問3 3 及び問3 3 - 1 の設問削除について。意識調査ではなく、実態調査の要素が強いことと、加害者側が正直に回答してくれるのかという疑問もあり、正確な数字が出てこない懸念があることから削除した方がよいのではないか。

委員賛成

<設問問3 3 及び問3 3 - 1 を削除>

23問3 7 (委員)設問「～、女性に対する暴力防止への～」の「女性に対する」は、必ずしも女性に対してだけではないと考えれば削除した方がよいのではないか。

委員賛成

<設問「～、女性に対する暴力防止への～」から「～、暴力防止への～」へ変更>

男女共同参画の推進に対する施策について

24問3 8 (委員)選択肢の表現の整理について、1「性別による差別につながるものを改める」4「男性と女性対等に仕事と家庭の両立ができるように」9「総合的な活動拠点」は、シンプルにした方が理解しやすく、意味も通じることから削除した方がよいのではないか。また、語尾についても統一感をもった方が良いと感じる。

委員賛成

<1「法律や制度上の見直しを行う」 4「子育てや介護の支援やサービスの充実をはかる」 9「男女共同参画を推進するための設備を整備する」に修正。語尾についても、統一する。>

(2) 次回の協議会開催日について

平成21年1月21日(水)午前10:00～

資料 ・次第
・男女共同参画推進庁内連絡会議での検討(平成20年10月21日)

閉会 事務局